

快適で安全・安心・安息な

福祉のまちづくりに努めます

子育て支援の充実

多様な保育ニーズに対応できる体制づくりに努め、子どもたちが健やかに育つ環境づくりに取り組めます。鬼北町放課後児童クラブを開設し、地域の子育て家庭に対する支援を図ります。

高齢者福祉・障がい者福祉の充実

生きがいデイサービスなどの事業を実施し、救急医療情報キットの配布を促進します。また、「認知症高齢者を地域で見守るネットワーク活動」等を町内へ波及させ、地域包括支援センターの活動を充実させます。障がいの内容やニーズに応じたサービスが提供できるよう関係機関と連携し、総合的に取り組みます。

保健衛生・医療サービスの充実

生活習慣病の予防を中心に健康診断や各種がん検診の実施、健康相談、健康教育、訪問指導等の充実、講演会の開催、傾聴ボランティアの育成など心身の健康づくりに努めます。また、子育て支援や歯科保健指導、食育に重点を置き、母子の健康保持および健康増進を

図ります。

町立北宇和病院では、「地域医療連携ネットワーク」の活用と各医療機関との連携強化により、質の高い医療の充実を図ります。

また、各種研修や訓練に積極的に参加し、災害医療体制の構築を図るとともに、指定管理者との連携を密にし、良質な医療の提供に努めます。また診療所については、地域における第1次医療機関として、受診しやすい診療所運営に努めます。

社会保障制度

健康指導および生活指導等の訪問指導を実施するなど、国保加入者の健康保持を目指します。後期高齢者医療制度は、広域連合との連携を密に適正な運営に努めます。また介護保険事業については、介護サービス事業の充実、介護予防事業を含む地域支援事業の推進に努めます。

また、介護保険事業計画を見直し、「制度の持続可能性の確保」と「明るく活力ある超高齢社会の構築」を基本に、質の高いサービスの提供に取り組みます。また「臨時福祉給付金」の円滑な事務処理に努めます。

暮らしを支える産業を育て見守り、

活性化に努めます

農業の振興

岡山県の「榊源吉兆庵」と締結した連携協定をもとに、「地域おこし協力隊」の制度活用と併せて、栗、柚子の一層の生産拡大と振興を図ります。地域農業の担い手の育成・確保を図り、担い手の不足をカバーする集落営農組織の育成に努めます。

また、多品目の農産物を生産出荷する農家等の育成や新鮮な野菜を供給するための施設整備に努めます。特色ある農産物、特産品開発や食文化の提供に取り組み、農業の足腰を強くします。野生動物の捕獲を強化し、捕獲対策補助金の新設や防護柵設置等への助成を行い、意欲を持って農業ができる基盤づくりに推進します。

優良農地の保全管理と地域農業の振興

関係機関との連携強化を図り、地域農業管理システムの実用強化に努めるとともに、新規就農者の育成事業を推進します。あわせて耕作放棄地対策と農地の保全管理に努めます。

また、鬼北熟成雉の顧客開拓に努めるとともに、さ

らに付加価値を高め、「鬼北ブランド」として国内外に販路拡大できるよう努めます。

林業の振興

人工林への森林施業を実施するとともに、森林の現状把握や施業区域の確認など、広範囲に計画的かつ一体的な間伐・造林等を実施します。また、山のみち・過疎代行林道の日向谷節安線、広見日吉線の早期完成に努め、あわせて林道久保川線の開設を進めるとともに、家づくりにおける木材の地産・地消を促進します。

商工業の振興

町民の暮らしと密着した商工業活動、空き店舗等を活用した活性化事業や施設整備を支援し、町の活力回復に努めます。

また、昨年誘致した「株式会社ハイテンプ・マテリアルズ・システム」の新規事業計画や、雇用促進等への協力と支援をはじめ、新たな企業の誘致に向けて取り組みます。

観光の振興

豊かな地域資源を活用したさまざまな体験型のイベントを実施するとともに、指定管理者制度を導入した成川渓谷休養センターの施設改修を行い、民間の経営や管理能力を活かし、「魅力あふれる癒しの里」として、誘客の増加促進に努めます。あわせて、成川、節安、安森など、町の特色と資源を活用した多極間交流の拠点づくりを目指します。

また、全国唯一「鬼」の付く自治体として、「鬼」をモチーフとした事業を展開します。さらに、「道の駅イベント」「でちこんか」「きじ鍋まつり」「武左衛門ふるさと祭」「農業祭」などを支援するとともに、各種団体と連携し地域の振興に努めます。

